

製造業DX 調査レポート2030

NEW!

持続可能性・レジリエンスを実現するDX
現場3000人が挙げた課題と210社の投資意向

- 編集:日経BP 総合研究所クリーンテックラボ/日経クロステック
- レポート:A4判、約300ページ ■ 2022年12月19日発行
- 【書籍のみ】価格:880,000円(10%税込)、ISBN:978-4-296-20059-7
- 【書籍とオンラインサービスのセット】価格:1,078,000円(10%税込)、ISBN:978-4-296-20061-0



**独自調査① 製造業210社調査
DXの進捗と投資意向**

事業環境の変化と経営課題、DXの現状、サプライチェーン強化などの実態を分析

**独自調査② 現場3000人調査
現場が挙げた課題と今後**

現場の意識変化、DXの現状とこれから、現場から見える新たな課題などを明らかに

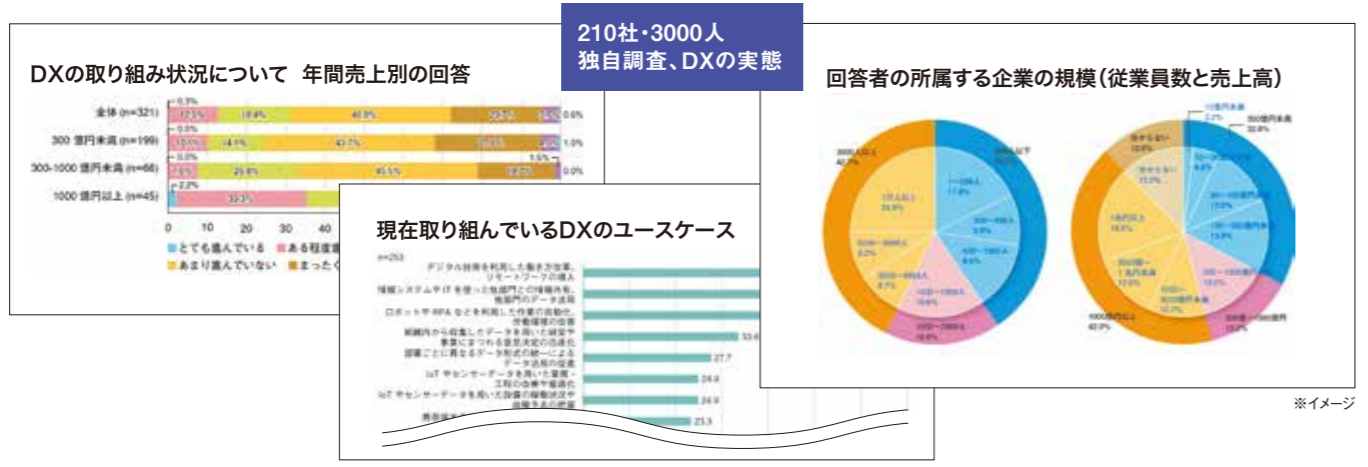
サステナブルとレジリエントを目指す業界・企業のDX戦略

構造変化が先行する自動車産業、DX先進企業、主要ベンダーの戦略を分析

企業210社、現場3000人への最新調査から 製造業のDXを巡る 戦略、組織、投資を明らかに

すでに一部の先進企業が、「サステナブル」と「レジリエンス」というキーワードを事業戦略に織り込み、DXを加速する動きを見せています。一方で、状況の変化を踏まえた変革のビジョンや戦略が、なかなか描けないという企業は少なくありません。また、ベンダーからは、ユーザーの動向が読めず、ニーズや効果的な提案のタイミングがつかみきれないという声も耳にします。

本レポートでは、こうした方々に向けて、デジタル変革を巡る製造業の動向を先読みするための情報をまとめて提供します。210社と現場3000人を対象に実施した独自調査では、経営と現場の両面から、DXに向き合う企業の課題や組織の動き、投資動向を分析。加えて、変革が先行する自動車産業が描く未来像についても迫ります。さらにDX先進企業のビジョンと戦略、ベンダーの最新の取り組みもレポートします。製造業DXに関する事業戦略の策定に是非ご活用ください。



目次

※目次は予定です。内容は変更になる場合があります。

- 第1章 **イントロダクション**
 - 1-1 本書の概要
 - 1-2 本レポートの見方
- 第2章 **製造業210社に独自調査、DXの進捗とこれから**
 - 2-1 調査概要
 - 目的と実施概要
 - 2-2 製造業を巡る事業環境の変化と経営課題
 - 経営層の念頭にある経営課題の変化
 - 業界や市場における自社の立ち位置に対する認識
 - DXに対する意識
 - 3年前と比べたDXに対する意識の変化
 - DXの進捗状況
 - 国内外の競合に対するDXの進捗状況
 - DXを進めるうえでの課題
 - 2-3 DXへの取り組みの現状とこれから
 - DXに取り組む目的の最新状況
 - 本質的なDXが本格化する時期
 - ITやデジタル技術の効果に対する期待
 - DXの取り組みが「順調」という企業の割合
 - DXを巡る取り組みはどこまで進んだか
 - DXをリードする部署はどこか
 - 2-4 DXに関する投資を巡る動き
 - DX関連の商材・サービスの導入を決める部署
 - DXを巡る投資判断のキーパーソンはどこにいるのか
 - DXに対する投資の動向
 - 2-5 「サプライチェーンの強化」と「カーボンニュートラル」の進展
 - サプライチェーンに高度化の進展
 - カーボンニュートラルの進展と意識の変化
 - 2-6 これからのDXを支援する企業への期待
 - 支援を受ける企業を決めるポイント
 - 支援を受けたい企業
 - 2-7 行政や海外の動向に対する意識
 - 国内外の政府の施策に対する関心・期待

第3章 製造業3000人に調査、現場から見える新たな課題

- 3-1 調査概要
 - 目的と実施概要
- 3-2 現場の意識変化から見えるDXの進展
 - 現場が認識する経営課題
 - 事業環境の変化に対する現場の意識
 - DXに対する現場の興味
 - DXの重要性に対する現場の認識
 - DXの取り組みの実態
 - 現場から見たDXの進展
 - 現場から見えるDX推進の課題
- 3-3 現場から見えるDXの現状とこれから
 - 経営層が掲げるDXの目的・理由の共有状況
 - ITやデジタル技術の効果に対する期待
 - 現場から見たDXの進捗
 - DXをリードするのはどの部署か
 - 部署間連携の実態を明らかに
- 3-4 現場が認識しているDX投資の現状と今後
 - DXの取り組みが及んでいる範囲
 - 現場が見たDXの取り組みレベル
 - 現場が考えるDXの今後の展開
 - 課題別のDXに関与する部署
 - 利用する商品・サービスの導入決定権はどこに

- 3-5 DXに利用する技術のニーズ
 - DXに取り組む現場における技術のニーズ
 - 新しい利用技術の導入時期
- 3-6 現場から見た「サプライチェーンの強化」と「カーボンニュートラル」の進展
 - サプライチェーンの高度化に関する取り組み実態
 - カーボンニュートラルの進展状況と意識の仕方
- 3-6 これからのDXを支援する企業への期待
 - 現場に聞いた支援を受ける企業を決めるポイント
 - 現場が支援を受けたい企業
- 3-7 行政や海外の動向に対する関心
 - 国内外の政府による施策に対する現場の関心・期待

第4章 サステナブルでレジリエントな自動車産業の未来展望

- 4-1 概要
- 4-2 自動車業界を取り巻く事業環境の変化
 - マクロトレンドを踏まえたCASE/MaaSの変曲点
 - カーボンニュートラルに向けて加速する電動化
 - 自動車のサプライチェーン全体を見据えたカーボンニュートラルとDX
- 4-3 カーボンニュートラルを踏まえて加速する自動車業界の構造変化の方向性
 - 電動化で加速する自動車業界の水平分業化と異業種参入
 - 水平分業化に伴うサプライヤーの方向性
 - カーボンニュートラルに向けた電池をめぐる垂直統合化
- 4-4 車載電池をめぐるサキュラーエコノミーとDX
 - カーボンニュートラルのキーアイテムである電池のサキュラーエコノミー
 - 各国/地域における電池政策と電池サプライヤー動向
 - 先駆けて進展を見せる電池のDX
- 4-5 自動車産業の新しい将来像とロードマップ
 - 日本の自動車産業の規模維持のための課題
 - カーボンニュートラルを見据えたOEM/サプライヤーのロードマップ
 - カーボンニュートラルを見据えた日本の自動車産業

第5章 製造業DX先進企業のビジョンと戦略

- 5-1 AGC
- 5-2 プリヂストン
- 5-3 ENEOSホールディングス
- 5-4 IHI
- 5-5 リコー

第6章 製造業DXベンダー主要13社のビジョンと戦略

- 6-1 富士通
- 6-2 日立製作所
- 6-3 SAP
- 6-4 AWS
- 6-5 グーグル・クラウド
- 6-6 マイクロソフト
- 6-7 日本IBM
- 6-8 ダッソー・システムズ
- 6-9 PTC
- 6-10 シーメンス
- 6-11 三菱電機
- 6-12 横河電機
- 6-13 NTTコミュニケーションズ